

地域日本語テキスト『おいでませ山口』の 自己点検・自己評価

——語彙レベル調査と文レベル調査——

林 伸一・吹屋葉子・二宮喜代子

1. Can do spirit (「やればできる!」の精神)

今から20年前の時点では、外国人に教えるための市販の日本語テキストも種類が限られていた。山口の実情にあったテキストを作成しようと、当時のクリエイティブ・センター山口において開講されていた「日本語教師養成講座」の受講生とともに、1994年に『山口で学ぶ日本語～入門編～』を作成した。その後、実際にボランティア教室で教える人の手で新たに制作、改編・改訂され、現在の『おいでませ山口1～5』シリーズの形になっている。(林2009参照)

2003年から日本語教師のための日本語教育能力検定試験の試験範囲が大きく改訂され、「日本事情」という項目は削除されてしまった。しかし、『おいでませ山口』のシリーズは、あくまで地域密着型のローカル・テキストとして、日本事情の中でも山口県事情にこだわり続けている。2011年には、再度日本語教育能力検定試験の範囲が改訂され、いくつかの重点範囲が設定された。

日本語教育能力検定試験の受験者は、「日本事情」の分野を勉強しなくてもいいのかというと、そうではなく「日本事情」は、「社会・文化・地域」と名を変えて出題されている。

1994年当時、数年もてばいいだろうと考えていた『山口で学ぶ日本語～入門編～』が『おいでませ山口』シリーズとして20年間続いて、なお2015年現在『おいでませ山口5』の改訂作業が行われているというのは、地域の情報を取り込んだテキストが地域で生活する外国人に支持されているからであろう。Can-do-spirit (「やればできる!」の精神) は、米国へ留学した日本人学生が持ち帰った言葉であるが、『おいでませ山口』の制作と維持に関しても、そう言えるのではないかと思われる。

2. 範囲記述からCan-do-statements (できることの記述) へ

この20年の間に、日本語教育関係者の関心が「日本語の特質」だけでなく「異文化理解」の方面にも拡大されてきていると思われる。『おいでませ山口』関係者も、日本語教師として日本語そのものと日本語をいかに効果的に教えるかということに大きな関心がある。

それと同時に異文化の背景を持つ人といかに付き合うか、つまり、いかにして適切なコミュニケーションがとれるかに重大な関心がある。日本語の構造や特質、日本語の運用力をつけることは「日本語」の時間に扱い、異文化とのコミュニケーションの問題は「日本事情」の時間に振り分けるという区分けが20年前の時点ではなされていた。無論、その両者は密接に結び着いていて明確に分けられない場合もある。

(2)

日本語の表現に「十年一昔」という言い方があるが、20年前の日本と日本語および日本語教育の置かれている状況の違いは、「二昔」と言ってもいいような大きなものがある。それは、日本語のレベルを測る試験が日本語能力試験だけだった時代から、2002年から実施されはじめた日本留学試験や山口大学の留学生センターが開発したJ-CAT (Japanese Computerized Adaptive Test)、日本人を対象とした特定非営利活動法人日本語検定委員会が主催する『日本語検定』、朝日新聞とベネッセが共同開発した『語彙・読解力検定』など目的によって異なる試験が行われていることから分かる。

2010年からは、日本留学試験も日本語能力試験も内容と方式が変更された。日本留学試験のほうは、記述の問題が1～6点で評価されていたものが、50点満点の評価に変わった。それは、以前の記述の平均が3～4点の間で、受験生の記述能力の差異が十分には測れなかったという事情がある。ちなみに山口大学人文科学研究科の入学試験を受験するためには、かつて日本留学試験の総合評価6割以上、記述4以上が課せられていたが、近年、日本留学試験の代わりに日本語能力試験N1以上が課せられるようになった。研究生としての受け入れは、N2以上のレベルが求められている。

日本語能力試験も、2010年からは、それまでの4～1級の試験が、N5～N1となり、1級と2級は、N1とN2というように変わった。N3は、2級と3級の間のレベルとされている。それまでの3級がN4に、4級がN5となったとされる。結果的に1級と2級より、N1とN2のほうがやや難しくなるのではないかと予想されていたが、実情は必ずしもそうとは言えない状況にある。試験の実施も年1回であったものが、7月と12月の年2回行なわれている。

日本留学試験と日本語能力試験の変更の背景には、言語教育の流れのグローバル化があると言われている。言語教育政策としてアメリカではNational Standardsが、ヨーロッパではCEFR (Common European Framework of Reference: ヨーロッパ言語共通参照枠組) が作られ、日本でも「日本語教育スタンダード」が論議されるようになったという経緯がある。

日本語能力試験でも、N1に「文の内容に合った文法形式かどうかを判断できる」とか、「まとまりのあるテキストを聞いて、内容が理解できる」「論評、解説、エッセイなど500字程度のテキストを読んで、内容が理解できる」など「○○できる」という記述で、問題の構成が示されている。つまり、Can-do-statements (できることの記述) で試験のレベルが示されるようになってきたのである。ただし、新システムになってからは、かつてのように『日本語能力試験出題基準』が発行されておらず、日本語教育の現場では手探り状態が続いている。独立行政法人・国際交流基金と公益財団法人・日本国際教育支援協会が制作・編集している『日本語能力試験公式問題集N1』『日本語能力試験公式問題集N2』などが、凡人社から発行されているが、それぐらいしか具体的な拠り所がないのが実情である。受験者は実際の問題を持ち帰ることはできず、きわめて透明性に欠ける試験システムである。

3. Yes, We Can! (そう、私たちにもできる!)

アメリカのオバマ大統領のYes, We Can!を持ち出すまでもなく、日本語の学習も、一定のカリキュラムのもとに、ある教材を用いて学べば目標のレベルまで到達できることを前提に行なわれている。同じ日本人同士であっても世代によって、職種によってコミュニケーション・

ギャップが生じることがある。

日本語を教える側の日本人同士であっても、意思疎通を欠く場合がある。ボランティア教室で用いられているチーム・ティーチング (Team Teaching) の場合にも、教える側のコミュニケーションを円滑にしておく必要がある。そこで指針が重要になってくるのであるが、『おいでませ山口1～5』シリーズには、巻末にそれぞれの課の指導の手引きが示されている。そのように教えなければいけないという典型例を示したのではなく、あくまでも示された手引きのようなしかけと工夫がなされれば、その課の目標となるCan-do statements (〇〇できる) が一定程度、実現できるという意図が込められている。

4. 『おいでませ山口』の歩み

『おいでませ山口』のシリーズは、市販されてはならず、以下に示すように15団体からの助成を得て20年以上33回発行し続けている。作成費の助成としては、公的な助成、民間の助成、山口県国際交流協会の事業費からの助成などがある。JALT (The Japan Association for Language Teaching: 全国語学教育学会)、鳳陽会 (山口大学経済学部同窓会)、山口大学、山口大学教育研究後援財団などからの助成があったが、自己負担としてボランティア養成講座の積立金を充当することもあった。2011年以降は山口県日本語教育ネットワークの自力の積立金を基に改訂・編集作業を行い、改訂版を発行し続けている。

表1. 『おいでませ山口』の歩み

	テキスト名	発行主体	助成団体等の財政的な支え
1994	山口で学ぶ日本語～入門編～	JALT山口支部 日本語教育部会	(財)山口県文化振興財団
1994	山口県で学ぶ日本語～入門編～	JALT山口支部 日本語教育部会	(財)言語教育振興財団
1995	山口県で学ぶ日本語～練習帳～	JALT山口支部 日本語教育部会	(財)山口県国際交流協会
1996	おいでませYAMAGUCHI	JALT山口支部 日本語教育部会	山口市 山口市国際親善市民の会
1996	続おいでませ山口	JALT山口支部 日本語教育部会	山口市国際親善市民の会 日本語クラブ山口
1997	おいでませ山口～外国人のための入門日本語教材～	JALT山口支部 日本語教育部会	日本語クラブ山口 日本語クラブ宇部
1997	おいでませ山口～外国人のための入門日本語教材～	JALT山口支部 日本語教育部会	(財)山口県教育財団・教育振興活動支援事業
1997	続おいでませ山口～外国人のための初級日本語教材～	JALT山口支部 日本語教育部会	(財)やまぐち女性財団・女性の社会参加活動支援事業
1998	おいでませ山口～外国人のための入門日本語教材～	JALT山口支部 日本語教育部会	(財)山口県教育財団・教育振興活動支援事業
1998	続おいでませ山口～外国人のための初級日本語教材～	JALT山口支部 日本語教育部会	山口県日本語教育ネットワーク
1999	おいでませ山口～外国人のための入門日本語教材～1999-2000年版	日本語クラブ宇部	宇部東ロータリークラブ
1999	おいでませ山口2～外国人のための初級日本語教材～1999-2000年版	JALT山口支部 日本語教育部会	山口県日本語教育ネットワーク

(4)

1999	おいでませ山口3～外国人のための初級日本語教材～(初版発行)	日本語クラブ山口	日本語クラブ山口
2000	おいでませ山口1～外国人のための入門日本語教材～2001年版	JAL'T山口支部 日本語教育部会	萩ライオンズクラブ
2000	おいでませ山口3～外国人のための初級日本語教材～2000・2001年版	日本語クラブ山口教材制作グループ	(財)山口県国際交流協会 山口中央ロータリークラブ
2001	おいでませ山口1～外国人のための入門日本語教材～2002年版	JAL'T山口支部 日本語教育部会	岩国日本語教室、(社)鳳陽会、山口県日本語教育ネットワーク
2001	おいでませ山口2～外国人のための初級日本語教材～2001-2002年版	JAL'T山口支部 日本語教育部会	山口県日本語教育ネットワーク
2001	おいでませ山口3～外国人のための初級日本語教材～2002-2003年版	日本語クラブ山口教材制作グループ	(財)山口県国際交流協会山口中央ロータリークラブ、山口西京ライオンズクラブ
2002	おいでませ山口2～外国人のための初級日本語教材～2002-2003年版	JAL'T山口支部 日本語教育部会	(財)山口県教育財団 (社)鳳陽会
2003	異文化交流の接点としての日本語教育ーおいでませ山口1・2・3・4ー	山口大学人文学部異文化交流研究施設	山口大学人文学部異文化交流研究施設研究プロジェクト
2003	おいでませ山口4～外国人のための初級日本語教材～2004年版	山口県日本語教育ネットワーク	(財)山口県教育財団 (社)鳳陽会
2003	おいでませ山口2～外国人のための初級日本語教材～2004年版	山口県日本語教育ネットワーク	(財)山口県国際交流協会・グローバル山口民間国際交流促進事業
2005	おいでませ山口1～外国人のための入門日本語教材～2005年版	日本語クラブ山口教材制作グループ	山口市国際交流事業補助金・(社)鳳陽会・山口県日本語教育ネットワーク
2005	おいでませ山口3～外国人のための初級日本語教材～2005年版	日本語クラブ山口教材制作グループ	(社)鳳陽会
2006	おいでませ山口4～外国人のための初級日本語教材～2006年版	山口県日本語教育ネットワーク	山口県日本語教育ネットワーク
2006	おいでませ山口1～外国人のための入門日本語教材～2007年版	山口県日本語教育ネットワーク	(財)山口県国際交流協会・グローバル山口民間国際交流促進事業
2008	おいでませ山口3～外国人のための初級日本語教材～2008年版	日本語クラブ山口教材制作グループ	(社)鳳陽会
2009	おいでませ山口2～外国人のための初級日本語教材～2009年版	山口県日本語教育ネットワーク	(財)山口大学教育研究後援財団
2010	おいでませ山口1～外国人のための入門日本語教材～2010年版	山口県日本語教育ネットワーク	(財)山口県ひとづくり財団「平成21年度生涯学習活動グループ支援事業」
2010	おいでませ山口4～外国人のための初級日本語教材～2010年版	山口県日本語教育ネットワーク	(財)山口県ひとづくり財団「平成21年度生涯学習活動グループ支援事業」
2011	おいでませ山口5～外国人のための初級日本語教材～2011年版	山口県日本語教育ネットワーク	山口県日本語教育ネットワーク (山野勝也氏のご遺族からの寄付)
2013	おいでませ山口3～外国人のための初級日本語教材～2013年版	山口県日本語教育ネットワーク	山口県日本語教育ネットワーク
2015	おいでませ山口4～外国人のための初級日本語教材～2015年版	山口県日本語教育ネットワーク	山口県日本語教育ネットワーク

「山口県内の实情に合った地域密着型日本語教材を作ろう」と、県内の日本語ボランティアが中心となって制作を開始したローカルテキスト『おいでませ山口』は、1994年の初版発行から20年以上を経ている。入門から初中級レベルの基本的な「やさしい日本語」から「むずかしい日本語」へと学習項目を配列し、地域情報・生活情報も意識的に取捨選択し、多角的な日本語支援リソースとなることを目指している。地震など緊急時の対応についても配慮している。

5. 『おいでませ山口』と「やさしい日本語」

日本語教育学会は、学会誌『日本語教育』の158号で、「やさしい日本語」の諸相について特集している。その中で、野田（2014）は母語話者が日本語を使うときの問題としてユニバーサルな日本語コミュニケーションを提案している。

『おいでませ山口』では、「マインドマッピング」(mind-mapping) を多用したり、イラストを活用したりと、伝達手段と伝達様式を工夫している。さらに、山口地区の日本語教師グループ「日本語クラブ山口」が1996年から毎年開講している「日本語ボランティア養成講座」や山口大学の公開講座「日本語教師養成講座」でもテキストとして用いられ、日本語教育に携わる人材の育成にも役立っている。野田（2014）の言うように「やさしい日本語」の工夫は、まず母語話者が訓練される必要がある。

『おいでませ山口』シリーズの定期的な改訂は、テキストの不備な点を正し、古い情報を刷新し、より使いやすいテキストにしていくためには必須の作業である。改訂時には、①学習者からのフィードバック ②教師間のフィードバック ③養成講座受講者からのフィードバック という3方向からのフィードバック機能を重視し、内容の再編成をしようとしている。「自ら制作し、使用し、フィードバックする」という流れに沿って、『おいでませ山口』シリーズと「やさしい日本語」の関係を考えておきたい。

6. 語彙レベルと『おいでませ山口』シリーズ

『日本語能力試験出題基準』に示された級別語彙表と『おいでませ山口』シリーズ（以下『山口』と略）の新出語彙表の関係を調べた。『出題基準』と『山口』の名詞、動詞、い形容詞・な形容詞、副詞について調査したが、感動詞、助数詞、固有名詞、機能語、慣用表現、略語、記号などは本調査対象からは外した。なお、庵ら（2013）など3・4級語彙を「やさしい日本語」の基としている先行研究が多い。

6.1 『おいでませ山口1～5』語彙調査における語彙レベル調査の観点・基準について

2015年、吹屋・林・梅本・山見は、以下の調査集計する語についての基準を立てて調査に臨んだ。

6.1.1. 調査集計する語について

- (1) 調査対象は、『おいでませ山口』各巻巻末収録「新出語一覧」の中の「名詞」・「動詞」・「形容詞」・「副詞」に分類される語とする。
- (2) 「新出語一覧」の中の「文法用語」・「表現」は、原則として調査対象から除外する。ただし、「表現」の構成成分となっている語で、調査対象の4つの品詞のカテゴリーに属し、かつ、当該表現以外でも高頻度で用いられるものは、調査対象とすることもある。

例 『おいでませ山口4』第2課「熱を測る」(表現) → 「測る」(動詞)として調査

- (3) 4つの品詞のカテゴリーに分類可能なものであっても、文法項目ととらえられるもの、また機能語の類は、調査対象から除外する。

例 『おいでませ山口2』第7課「行くつもりです」…「つもり」は形式名詞であって

も調査対象としない

- (4) 名詞のうち、固有名詞もしくはそれに準じる語は、調査対象から除外する。

例 「カナダ」「山口県交際交流協会」…調査対象としない

- (5) 名詞のうち、英字等で記号化されて表記されたものは、調査対象から除外する。

例 「TEL」「DVD」「×印」…調査対象としない

- (6) 名詞のうち、食べ物、動植物、スポーツ等は『日本語能力試験出題基準』（後記）の語彙表では挙げられていないが、本調査では対象とする。

6.1.2. 語彙レベル認定について

- (1) 語彙のレベル判定には、『日本語能力試験出題基準 改訂版』（2002年国際交流基金・日本国際教育支援協会 著作編集、以下『出題基準』）および、「日本語読解学習支援システムリーディングチュウ太」（以下、「チュウ太」）を用いる。

- (2) 合成語は、各構成成分のレベルを調査し、その中で最も高いレベルに合わせる。

例 「国際交流」…「国際」：3級 「交流」：2級 → 2級レベル

- (3) 『出題基準』や「チュウ太」に収録されていない語に関しては、「級外」とする。

- (4) 語彙レベル認定の困難な語に関しては、調査チームの合議の下、レベルを決定する。

6.1.3. 『おいでませ山口1～5』における『出題基準』カバー率

上記の基準に沿って調査を行った『山口』における『出題基準』カバー率を次の表2に示す。

表2. 『山口』における『出題基準』カバー率

巻 級	1巻	2巻	3巻	4巻	5巻	山口(B)	出題基準(A)	B/A(%)
4級	290	116	69	50	16	541	644	84.01
3級	40	44	74	106	74	338	625	54.08
2級	39	59	55	115	146	414	3325	12.45
1級	2	21	14	29	38	104	2905	3.58
計	371	240	212	300	274	1397	7499	18.63

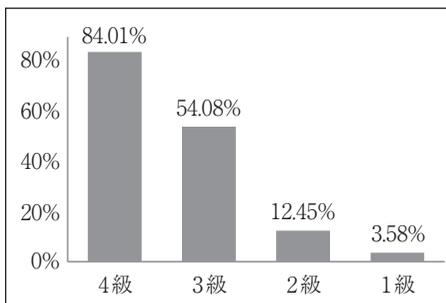


図1. 『山口』における『出題基準』カバー率

表2に示したように、『出題基準』の3・4級は3桁（合計1269）、1・2級は4桁（合計6230）と著しく語彙のサイズが異なる。それに対して、『山口』の方は、各巻とも200～300余りの出現語数である。『山口』全体が初級テキストであるため4級語彙が最も多く541で、1級語彙は最も少なく104となっている。

7. 『おいでませ山口』と品詞別語彙調査

7.1. 『おいでませ山口』に出現する名詞

次の表3に示すように、『おいでませ山口』に出現する名詞を見てみると、第1・2巻には4級の名詞が最も多く、第3・4巻には、1級および級外の名詞が最も多く（表3では1級のところに級外を含む）、第5巻には2級名詞が最も多い。

表3. 『山口』に出現する名詞（異なり語数）

巻	4級	3級	2級	1級	合計
1巻	203	31	38	20	292
2巻	60	34	53	46	193
3巻	41	36	41	46	164
4巻	13	51	79	80	223
5巻	9	29	88	74	200
合計	326	181	299	266	1072

表3の中のやさしい日本語とされる3・4級をひとまとめにし、2級以上（1級・級外を含む）をひとまとめにしてグラフにしたものを次の図2に示す。

3・4級の名詞は『おいでませ山口』の第1巻に最も多く234出現し、第2巻以降は100以下で3巻、4巻と巻が進むと右肩さがりに出現数が少なくなる。

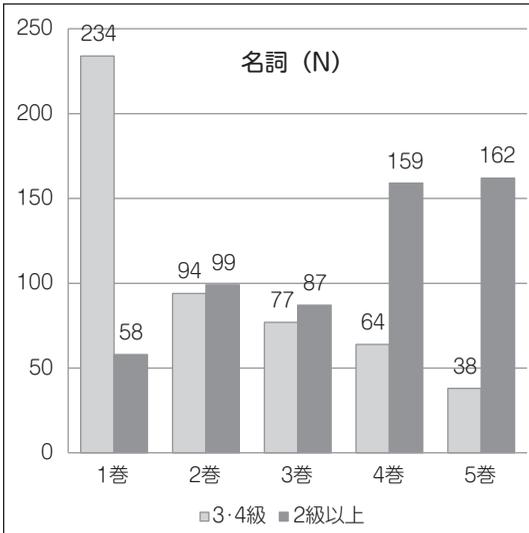


図2. 『おいでませ山口』における『名詞』レベルの配列

で日常生活に必要な語を基準にして収録されている。

7.2. 『おいでませ山口』に出現する動詞

3・4級の動詞は『おいでませ山口』の第4巻に最も多く72出現し、第1、3、5巻は、ほぼ同等の41～45の出現数となっている。第2巻が最も少なく28となっている。第1～3巻で、基本的な和語動詞が出現し、第4～5巻では和語動詞だけでなく、「留学する」「開店する」などの二字漢語動詞が多く出現するためである。（林・吹屋2013参照）2級以上（1級・級外を

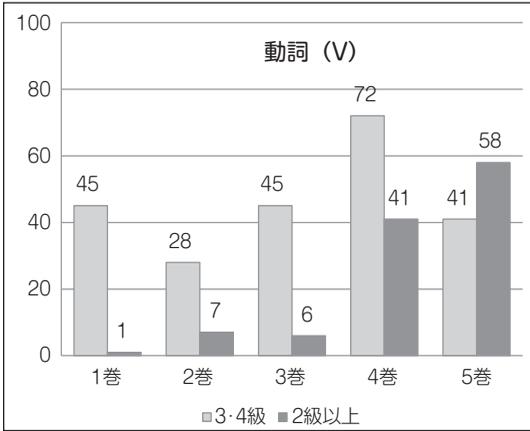


図3. 『おいでませ山口』における『動詞』レベルの配列している。

7.3. 『おいでませ山口』に出現する形容詞

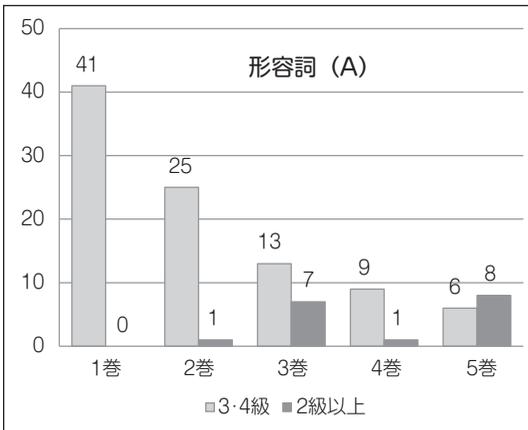


図4. 『おいでませ山口』における『形容詞』レベルの配列

「な形容詞」を区別する「形容詞マップ」が収録されている。

2級以上(1級・級外を含む)の形容詞は、『おいでませ山口』の第1巻では出現せず、第2・4巻でも1つずつの出現で、第3・5巻でも7～8の出現に留まっている。

7.4. 『おいでませ山口』に出現する副詞

3・4級の副詞は『おいでませ山口』の第1～5巻でそれほどの出現数の差はなく、それぞれ10語前後と少ない。第5巻では、3・4級の副詞は5つしか出現しないのに対して、2級以

含む)の動詞は、『おいでませ山口』の第1巻が最も少ない1で、巻が進むと多くなるが、2巻と3巻では7対6と純増していくわけではない。第4～5巻では41～58と中上級レベルの動詞が出現している。

第4巻では、「もらう」「くれる」「いただく」などの授受動詞を扱っていたり、「雪舟がつくった庭」など名詞修飾する動詞や、「～てしまう」「～ている」「～てある」など、補助動詞が学習項目となっている。第5巻では、使役、受身、使役受身などを扱い、待遇表現を学習項目と

3・4級の形容詞は『おいでませ山口』の第1巻に最も多く41出現し、第2、3、4、5巻と右肩さがりに出現数が減少している。これは、第1巻で名詞文に続き、「大きいかばん」のような形容詞による名詞の連体修飾や「このかばんは、大きいです」のような形容詞文が出現するからである。

3・4級の形容詞としては、新しい、高いなどの「い形容詞」だけでなく、不便な、しずかななどの「な形容詞」も出現する。『おいでませ山口』の第1巻には「い形容詞」と

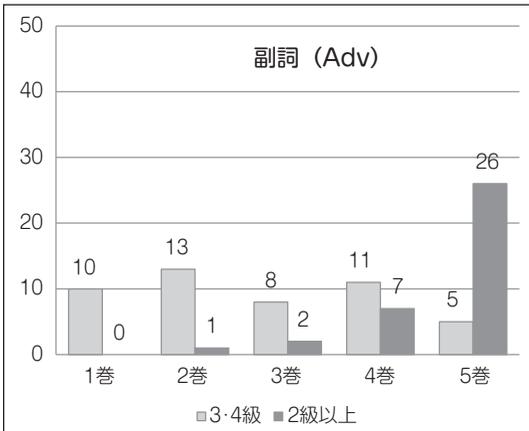


図5. 『おいでませ山口』における『副詞』レベルの配列

上（1級・級外を含む）の副詞は、26出現し、第1～5巻の中で最も多い。副詞のバリエーションや使い分けがわかるのが、中上級レベルの学習目標の重要な柱と言ってもよく、そこへの橋渡しを第5巻が担っているとも言える。

第5巻には、「ワンワン」「ザーザー」「オギャー」などの擬音語や、「ぼろぼろ」「びかびか」「ふらふら」などの擬態語が出現しており、副詞の数が多くなっている。外国人にとっては、日本語の擬音語や擬態語などのオノマトペの習得が難しい。

8. 一語文・二語文・三語文・多語文

埼玉県が作成した「外国人にやさしい日本語表現の手引 2006」には、外国籍県民に日本語で県の行政情報を伝えるための「やさしい日本語の作り方」の指針が示されている。その第一番目に「単文、短文」があげられている。

日本語テキストも単文から始め、課が進むと重文や複文が提出される。『おいでませ山口』の本文会話にも一語文・二語文・三語文・多語文と徐々に複雑で長い文が提出されている。ただし、一語文がやさしいとは限らず、林（2015）は、「自然な日本語の特徴として主語なし文（略題文、無主格文、一語文）が多く出現するため、難しい」としている。

『おいでませ山口』の本文会話における語数の分けの認定基準に関しては、次のように2015年3月13日に林、梅本、山見、吹屋で協議して決めた。

8.1. 一語とみなし、分けしないものについて

- ①助詞、助動詞、補助動詞、形式名詞等は一語とみなさず、前接語と合わせて一語と考える。
- ②派生語は語基・接辞を合わせて一語とみなす。
- ③「かもしれない」「たことがある」「たほうがいい」等、すなわち機能語の類は一語とする（前接語と一緒にすることもある）。
- ④「東京出張」「国際交流フェスティバル」「日本語能力試験」のような複合語は一語とみなす。
- ⑤固有名詞的なものは一語とみなす。
- ⑥「男の子」「母の日」等も一語とみなす。

8.2. 指示詞の扱い

- ①名詞（代名詞）の指示詞は単独で一語とみなす。
- ②指示詞（連体詞）＋名詞のような場合も、指示詞は別個に数える。ただし、「この間」「この

たび」の「この」のように派生義で使われる指示詞の場合は分けず、「この間」「このたび」で一語とみなす。

8.3. 連語、慣用句等の扱い

連語、慣用句、あいさつ言葉などは、原則として一語とみなす。ただし、「足を洗う」等で、原義（「汚れたので足を洗います」）で用いられるときには「足を」「洗う」と二語に数え、「悪の道から足を洗う」のような慣用句としての用法は、「足を洗う」で一語相当と考える。

<例>

「車を運転します」…「車を」「運転します」：2語

「車の運転をします」…「車の」「運転を」「します」：3語

「ビールのほうがいいです」…「ビールのほうが」「いいです」：2語

「じゃ、またにしましょう」…「じゃ」「またにしましょう」：2語

「何か持って行きますか」…「何か」「持って行きますか」：2語

「国際交流バスツアーに申し込みたいんですが」…「国際交流バスツアーに」「申し込みたいんですが」：2語

9. 『おいでませ山口』の一語文・二語文・三語文・多語文

上記の基準に従って、『おいでませ山口』の一語文・二語文・三語文・多語文について調査したところ次の表4のような結果となった。

『おいでませ山口』の一語文・二語文・三語文・多語文については、一語文・二語文・三語文の合計が、『おいでませ山口』の第1巻で最も多く92.3%出現し、2巻、3巻、4巻、5巻と巻が進むに従って、比率が減少している。逆に四語文以上の多語文に関しては、第1巻で最も少なく7.8%しか出現していないのに対し、2巻、3巻、4巻、5巻と巻が進むに従って、徐々に増加している。（具体的文例としては、別添資料1～4参照）

表4. 『おいでませ山口』の一語文・二語文・三語文・多語文 (%)

文 卷	一語文	二語文	三語文	一～三語文 小計	多語文
1巻	33.6	37.1	21.6	92.3	7.8
2巻	25.0	32.4	22.2	79.6	20.3
3巻	21.7	19.4	32.6	73.7	26.3
4巻	25.6	24.0	21.8	71.4	28.7
5巻	20.4	24.5	20.4	65.3	34.7

一言文の例として、「行きたいんですが…」(2巻8課)や「約束していたのに…」(4巻9課)のような言いさし文が、外国人学習者には分かりにくい。「…」の後続部分が省略された表現であるが、外国人学習者には、省略された部分を推測することが困難であり、継続部分の発話を期待して待っている場合もある。また、「なぜかもしれませんね」(2巻8課)や「よさそうですね」(3巻6課)のような話者の心的態度を示すモダリティー表現の曖昧さに戸惑う外国

人学習者も多い。

ある程度は、予想した結果ではあったが、あらかじめ計算されたかのような結果になっている。やさしい文から難しい文へ、よく使う実用的な表現を優先させてきた結果が、図6のグラフのような形になっている。

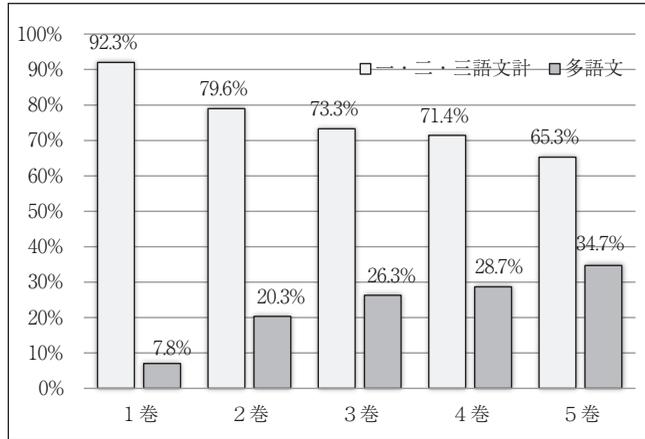


図6. 『おいでませ山口』一語文・二語文・三語文と多語文

[参考文献]

- 庵功雄・イヨンスク、森篤嗣編 (2013) 『『やさしい日本語』は何をを目指すか—多文化共生社会を実現するために—』ココ出版
- 国際交流基金・財団法人日本国際教育協会 (2002) 『日本語能力試験出題基準』凡人社
- 野田尚史 (2014) 『『やさしい日本語』から『ユニバーサルな日本語コミュニケーション』へ—母語話者が日本語を使うときの問題として—』日本語教育学会『日本語教育』158号、pp.4-18
- 林伸一 (2009) 「外国人のための日本語教科書『おいでませ山口』の歩みと今後の課題」山口大学文学部『山口大学文学部志』第59巻、pp.115-129
- 林伸一・吹屋葉子 (2013) 「日本語ローカルテキストの語種調べ—『おいでませ山口1～5』の場合—」山口大学文学部『山口大学文学部志』第63巻、pp.99-124
- 林伸一 (2015) 『『やさしい日本語』とは何か?—外国人にわかりやすい表現について—』山口大学人文学部異文化交流研究施設『異文化研究』Vol.9、pp.14-30
- 山口県日本語教育ネットワーク「おいでませ山口」作成委員会 (2009～2015) 『おいでませ山口1～5』

謝辞：研究協力者の山見智子さん（日本語クラブ山口）・梅本美和子さん（日本語クラブ宇部）・家根橋伸子さん（東亜大学）、相村知美さん（山口県教育カウンセラー協会）にこの場を借りて感謝の意を表したい。

（はやし・しんいち、ふきや・ようこ、にのみや・きよこ）

別添資料1.『おいでませ山口』の第1巻のダイアログに出現する一語文・二語文・三語文

課	一語文	小計	二語文	小計	三語文	小計
第1課	1 山本です。		はじめまして、ワンです。		どうぞ よろしく おねがいします。	
	2 医者です。		中国から 来ました。		こちらこそ どうぞ よろしく。	
	3		どうぞ よろしく。		はい、山口大学の 学生です。	
	4		妻の リーです。		いいえ、わたしは 学生じゃありません。	
	5		ワンさんは 学生ですか。			
	6		山本さんも 学生ですか。			
		2		6		4
第2課	1 平川です。		(電話番号)、1ですか、7ですか。		ワンさん、おすまいは どちらですか。	
	2 (電話番号)です。				ああ、わたしも 平川です。	
	3 ↑です。				すみません、電話番号を 教えてください。	
		3		1		3
第3課	1 どれですか。		どうも ありがとうございます。		しょうゆを つけてください。	
	2 それです。		あれは 何ですか。		すみません、塩を とってください。	
	3 これですね。		しょうゆは これですか。			
	4 どうぞ。		それは ソースです。			
	5 すしです。					
	6 それじゃありません。					
		6		4		2
第4課	1 すみません。		80円切手を ください。		はい、180円のおかえしです。	
	2 はい。		ええと、4枚です。		じゃ、500円 おあずかりします。	
	3 何枚ですか。					
	4 はい。					
	5 320円です。					
	6 はい。					
	7 ありがとうございます。					
		7		2		2
第5課	1 こんにちは。		こんにちは、リーさん。		ああ、郵便局の となりですね。	
	2		ああ、スーパーですか。			
	3		スーパーは あそこです。			
	4		郵便局の となりです。			
	5		ええ、そうです。			
	6		どうも ありがとうございます。			
	7		いいえ、(どういたしまして)。			
		1		7		1
第6課	1 すみません。		いいえ、それじゃありません。		ナイフは どこに ありますか。	
	2 はい。		ああ、包丁ですね。		ナイフは ここに ありますよ。	
	3 料理の…。		dai8ka ああ、どうも。		あのう、大きい ナイフです。	
	4 いいえ。					
		4		3		3
第7課	1 こんにちは。		あ、すみません。		友だちと 常盤公園に 行きます。	
	2 こんにちは。		今、何時ですか。		ええ、ちよつと 広島まで。	
	3 どちらへ。		ちよつと 11時ですよ。		広島まで 新幹線で 行きますか。	
	4 まりさんは。		じゃ、お先に。		いいえ、電車で 行きます。	
	5 いってらっしゃい。					
		5		4		4
第8課	1 そうですね。		あ、11時ですね。		山口駅は あまり 大きくないですね。	
	2 良いですね。		瑠璃光寺に 行きませんか。		じゃあ、タクシーで 行きましょう。	
	3 10分くらいですよ。		バスで 行きますか。			
		3		3		2
第9課	1 すみません。		おはよう、バクさん。		いい天気ですね。	
	2 たいへんですね。		今、ちよつと…。		さんぽに 行きませんか。	
	3 そうですね。		せんたくを していますから。		へやで テレビを 見ていました	
	4 いいですね。		えっ、下関ですか。			
	5		あ、そうですね。			
		5		5		3
第10課	1 ありがとう。		おかえりなさい、バクさん。		雨でしたが、とても 楽しかったですよ。	
	2 おいしいですね。		下関は どうでしたか。		はい、これは おみやげです。	
	3		わあ、うれしい。		あまいものは 大好きです。	
	4		いっしょに 食べましょう。		いいえ、それは 乾燥剤です。	
	5		これも おかしますか。			
	6		食べなくてください。			
		2		6		4
		38		41		28
		32.8%		34.5%		22.4%

別添資料2. 『おいでませ山口』の第1巻のダイアログに出現する多語文

課	数	多語文	○語文
第5課	1	あのう、田中さん、スーパーは どこに ありますか。	5
第6課	1	包丁は その皿の 横に ありますよ。	4
第8課	1	いいえ、バスは あまり 便利じゃありません。	5
	2	わたしは よく タクシーに 乗ります。	4
	3	ここから 瑠璃光寺まで どのくらい かかりますか。	4
第9課	1	日曜日は いつも せんたくを しますか。	4
	2	いいえ、先週は 雨が ふりましたから、しませんでした。	5
	3	わたしは 先週の日曜日、下関に 行きました。	5
	4	わたしは こんどの日曜日、会社の友だちと 下関に 行きます。	7
割合		10.30%	計9文

表中の「○語文」の○は、多語文の語数を示す。

別添資料3. 『おいでませ山口』の第2巻のダイアログに出現する多語文

課	数	多語文	○語文
第1課	1	まりさん、あれは 日本語で 何と 言いますか。	5
	2	でも、まだ 日本語が よく わかりません。	5
第2課	1	すみません、きょう ごみを 出しても いいですか。	5
	2	今日は 水曜日ですから、燃やせるごみは 出しても いいですよ。	6
	3	いいえ、きょうは 燃やせるごみだけです。	4
	4	ええと、今月は 第2火曜日かもしれませぬ。	4
第3課	1	今 少し こんでいますので、1時間後の11時は いかがですか。	7
第4課	1	あら、今日は アルクは お休みですよ。	4
	2	じゃあ、今日は コープに 行きます。	4
第5課	1	こちらの 軽くて じょうぶなのは いかがでしょうか。	4
	2	そちらが いちばん 大きい サイズです。	4
	3	じゃ、また 今度にします。	4
第6課	1	その 青いくつ いいですね。	4
	2	赤いのは たくさん ありましたが、青いのは 少なかったですよ。	5
第7課	1	まりさんは 京都に 行ったことが ありますか。	5
	2	ええ、去年 祇園祭りを 見に 行きました。	5
	3	ええ、京都に 行くつもりです。	4
第8課	1	ええ、今朝から 頭が 痛いですよ。	4
	2	じゃあ、うちで ゆっくり 休んだほうが いいですよ。	5

第9課	1	ワンさん、あした うちに 来ませんか。	4
	2	あしたは朝から洗濯をして 掃除をして それから 買い物に行って…そして…。	10
	3	ええ、あさって 国から 両親が 来るんです。	5
	4	ワンさん、あした うちに 来ない。	4
	5	あしたは朝から洗濯をして掃除をして それから 買い物に 行って…うーん。	10
	6	うん、あさって 国から 両親が 来るんだ。	5
割合		24.3%	計25文

表中の「○語文」の○は、多語文の語数を示す。紙幅の都合上、表記を漢字にしたところもある。

別添資料4.『おいでませ山口』の第2巻のダイアログに出現する一語文・二語文・三語文

「おいでませ2」本文ダイアログ

課	全文数	一語文	小計	二語文	小計	三語文	小計
第1課	11	1 「しんご」ですか。		ええ、そうです。		あれは「信号」って言います。	
		2 「しんごう」ですね。		しんごう しんごう…。		いいえ、「しんご」じゃなくて、「しんごう」です。	
		3 ええ。		もっと 勉強したいです。		バクさんは よく 勉強しますね。	
			3		3		3
第2課	12	1 ええ。		かんも いいですか。		じゃあ、かんは いつですか。	
		2 ありがとうございます。		かんは だめです。		ああ、第2火曜日ですね。	
		3		いいえ、どういたしまして。			
			2	ごみカレンダーを 見てください。			
					4		2
第3課	10	1 もしもし…。		はい、ヘアーサロン小島です。		あのう、今から 行ってもいいですか。	
		2 11時ですね。		じゃ、おねがいします。			
		3 お名前は。		バクと 言います。			
		4		はい、バク様ですね。			
		5		では、お待ちしています。			
			3		5		1
第4課	12	1 どちらへ。		山野さん、おはようございます。		あら、マリりんさん、おはようございます。	
		2 そうですか。		いいお天気ですね。		アルクへ 買い物に 行きます。	
		3		えっ、そうですか。		ええ、コープは 開いていますよ。	
		4		どこか 開いていますか。		コープも 近くて 便利です。	
			2		4		4
第5課	15	1 ジョギングシューズです。		何を おさがしですか。		ほかに は どんなのが ありますか。	
		2 うーん。		はいてみても いいですか。		この 赤いのは いかがですか。	
		3 そうですね…。		はい、どうぞ。		もっと 大きいのは ありませんか。	
		4 すみません。		ちょっと 小さいですね。			
		5 そうですか。					
			5		4		3
第6課	12	1 ほんとう。		えっ、これですか。		ええ、どこで 買いましたか。	
		2 そうですか。		ゆめタウンで 買いました。		一週間前には そんなのは なかったですよ。	
		3				青いのと 赤いのが ありましたよ。	
		4				軽くて はきやすいですよ。	
		5				私も 新しいのが ほしいなあ…。	
		6				まだ たくさん ありましたか。	
			2		2		6
第7課	8	1 いつですか。		もうすぐ 夏休みですね。		8月10日から 1週間ぐらいです	
		2		どこかに 行きますか。			
		3		ああ、いいですね。			
			1		3		1
第8課	11	1 だいじょうぶですか。		どうしたんですか。			
		2 そうします。		元気が ないですね。			
		3 お大事に		熱は あるんですか。			
		4		ええ、ちよっと…。			
		5		ええ、そうですね。			
		6		かげかもしれません。			
			3		6		0
第9課	16	1 ありがとうございます。		それは いいですね。		じゃ、またに しましょう。	
		2 行きたいんですが…。		うわあ、忙しいんですね。		じゃ、またに しょう。	
		3 ありがとうございます。		それは いいね。			
		4 行きたいんだけど…。		うわあ、忙しいんだね。			
			4		4		2
小計			25		35		22
割合			23.4%		31.8%		20.6%

紙幅の都合上、『おいでませ山口』第3巻以降の別添資料の添付は省略する。